



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場会社名 日本コロムビア株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6791 URL http://columbia.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 眞市  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 鈴木 千佳代 (TEL) 03-6895-9870  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	10,574	4.6	1,699	67.9	1,697	68.1	1,476	79.3
28年3月期第3四半期	10,109	11.1	1,012	—	1,009	—	823	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,483百万円(74.5%) 28年3月期第3四半期 850百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	109.44	—
28年3月期第3四半期	61.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	9,413	3,821	40.4
28年3月期	7,988	2,365	29.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 3,805百万円 28年3月期 2,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末配当は3月31日、中間配当は9月30日をそれぞれ基準日と定めておりますが、現時点において、平成29年3月期期末における配当予想額は未定であります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	3.4	1,700	41.6	1,645	35.6	1,475	51.5	109.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	13,512,870株	28年3月期	13,512,870株
29年3月期3Q	25,370株	28年3月期	24,573株
29年3月期3Q	13,488,023株	28年3月期3Q	13,489,498株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。ただし、この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
四半期業績の推移	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

日本の音楽市場につきまして、配信に関しましては平成28年1月から9月(最新情報)における有料音楽配信の売上実績は前年同期比113%となりましたが、当社にとって依然として主要な市場であるパッケージ商品に関しましては、平成28年1月から12月における音楽ビデオを含む音楽ソフトの生産実績は前年同期比97%(以上、一般社団法人日本レコード協会調べ)となっており、パッケージ市場につきましては未だに縮小傾向が続いております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は105億7千4百万円(前年同四半期に比べ4.6%増)となりました。これは主に、市販/配信事業において、アニメ関連作品、ゲームソフトおよびアーティストマネジメント関連事業の売上が好調に推移したことなどによるものであります。

損益につきましても、前述の売上の増加に加え、市販/配信事業における利益率の高い過年度発売作品の売上が堅調に推移したことなどより、営業利益は16億9千9百万円(前年同四半期は営業利益10億1千2百万円)、経常利益は16億9千7百万円(前年同四半期は経常利益10億9百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億7千6百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益8億2千3百万円)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### 〔市販/配信事業〕

アニメ関連作品、ゲームソフトおよびアーティストマネジメント関連事業の売上が好調に推移したことなどにより、売上高は85億9千万円(前年同四半期に比べ15.0%増)となりました。損益につきましても、前述の売上の増加に加え、利益率の高い過年度発売作品の売上が堅調に推移したことなどにより、営業利益は21億2百万円(前年同四半期は営業利益11億2千6百万円)となりました。

主な作品といたしましては、「氷川きよし」のヒットシングル“みれん心”をはじめ、「松山千春」自身が選曲を行った60曲収録のベストアルバム“松山千春の系譜”、15年ぶりに再集結の「THE YELLOW MONKEY」が15年9ヶ月ぶりに発売した通算25枚目のシングル“砂の塔”、4月に念願のアーティスト主催イベント「YON FES 2016」を開催した「04 Limited Sazabys」のセカンドメジャーアルバム“eureka”、“THE IDOLM@STER”シリーズ、“動物戦隊ジュウオウジャー”シリーズ、ほんわかキャラクター「すみっこぐらし」がみんなで村へやってくる、村づくりを始めるニンテンドー3DSソフト“すみっこぐらし むらをつくるんです”などの自社制作作品が、売上に貢献いたしました。

#### 〔特販/通販事業〕

前期好調であった利益率の高い音源使用にかかる売上の減少などにより、売上高は13億1千万円(前年同四半期に比べ21.9%減)となりました。営業利益は6億6千6百万円(前年同四半期は営業利益9億4千5百万円)となりました。

#### 〔その他〕

昨年、米国における連結子会社に対する出資の全持分を譲渡したこと、他社作品の販売受託事業における売上の減少などにより、売上高は6億7千3百万円(前年同四半期に比べ29.8%減)となり営業利益は2億5千3百万円(前年同四半期は営業利益2億8千6百万円)となりました。

当社グループは、依然として市場が低迷しているパッケージ商品に依存している状況からの脱却を図るため、新規事業強化への構造改革が急務であるという認識に基づき、成長分野への経営資源の集中投下を行っており、アーティストマネジメント関連事業など一部に事業規模拡大の兆しも出てまいりましたが、未だ事業の開発段階であります。

このように、様々なジャンルのアーティスト発掘・育成を行い、各アーティストの特性を活かした様々な音楽関連商品やサービスの開発・提供を強化していくため、マネジメント事業部において、いわゆる360°ビジネスによる収益確立に向けた取り組みを加速いたしております。

なお、今後も、フェイス・グループの一員として戦略的パートナーシップを構築していくことにより、グループ全体で注力するアーティストの育成や様々な音楽関連サービスを充実させるとともに、グループ一丸となって音楽業界にイノベーションを起こすべく事業にまい進してまいります。

売上高の貢献主要作品

[市販/配信事業]

<音楽ソフト>

“新・演歌名曲コレクション4 ーきよしの日本全国 歌の渡り鳥ー”、 “新・演歌名曲コレクション3 ー みれん心ー”、“みれん心”	「氷川きよし」
“おとこの酒よ”、“一途な女”	「大川栄策」
“動物戦隊ジュウオウジャー” シリーズ	
“THE IDOLM@STER” シリーズ	
“ストライクウィッチーズ” シリーズ	
“SUMILE SMILE”	「内田彩」
“Sweet Sensation/Baby, My First Kiss”	「村川梨衣」
“30周年記念盤 ゼルダの伝説 ゲーム音楽集”	
“いないいないばあっ!” シリーズ	
“2016 アニメ&キッズ・ヒット・マーチ ～動物戦隊ジュウオウジャー/サザエさん～”	
“2016 ポップ・ヒット・マーチ ～スター・ウォーズ/もしも運命の人がいるのなら～”	
“松山千春の系譜”	「松山千春」
“イエモン ーFAN’S BEST SELECTIONー”、“砂の塔”	「THE YELLOW MONKEY」
“SAMSARA FLIGHT～輪廻飛翔～”	「LOUDNESS」
“僕はコレクター”	「THE COLLECTORS」
“Waltz on Life Line”	「9mm Parabellum Bullet」
“AIM”、“eureka”	「04 Limited Sazabys」
“待とうよ!”	「HR」
“サンダーバード音楽集 ～オリジナル・スコアによる”	「広上淳一 指揮 東京ガーデン・オーケストラ」
“ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番”	「反田恭平」

<映像ソフト>

“AYA UCHIDA Complete LIVE ～COLORS～ in 日本武道館”、 “2nd SOLO LIVE 「Blooming! ～咲き誇れみんな～」”、 “AYA UCHIDA CONCEPT LIVE ～Bitter Kiss～ ～Sweet Tears～”	「内田彩」
“いないいないばあっ!” シリーズ	
“河合奈保子ライブ・ベスト ～けんかをやめて～”	「河合奈保子」
“ふる里の民踊 第56集”	

<音楽配信>

“砂の塔”、“ALRIGHT”	「THE YELLOW MONKEY」
“ハナミズキ”	「一青窈」
“Butterfly”	「木村カエラ」
“THE IDOLM@STER” シリーズ	
“動物戦隊ジュウオウジャー” シリーズ	

<ゲームソフト>

ニンテンドー3DS

“わんニャンどうぶつ病院 ステキな獣医さんになろう!”
“すみっこぐらし おみせはじめるんです”
“すみっこぐらし むらをつくるんです”

[特販/通販事業]

“演歌の花道”
“擦り切れるまで聴いた歌謡ポップス100”

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度と比較して14億2千5百万円増加し、94億1千3百万円となりました。

主な増減としては、資産の部では、現金及び預金が15億8千3百万円、受取手形及び売掛金が1億8千2百万円増加したものの、前渡金が2億9千7百万円減少しております。負債の部では、支払手形及び買掛金が3億5百万円増加しましたが、未払金が1億1千8百万円、借入金が1億9千4百万円減少いたしました。また、純資産は親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより14億5千5百万円増加し、38億2千1百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、主に市販/配信事業において、アニメ関連作品やゲームソフトの売上が前回予想を上回ったことなどにより、平成28年11月7日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正しております。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	13,100	1,420	1,410	1,200	88円97銭
今回発表予想(B)	13,800	1,700	1,645	1,475	109円36銭
増減額(B-A)	700	280	235	275	
増減率(%)	5.3	19.7	16.7	22.9	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期累計)	13,343	1,200	1,213	973	72円17銭

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,542	6,125
受取手形及び売掛金	1,591	1,773
商品及び製品	298	310
仕掛品	200	279
原材料及び貯蔵品	43	41
繰延税金資産	1	0
前渡金	310	12
前払費用	208	102
その他	204	169
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	7,398	8,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	92	85
機械及び装置(純額)	16	14
工具、器具及び備品(純額)	52	48
土地	0	0
リース資産(純額)	9	5
有形固定資産合計	171	154
無形固定資産		
リース資産	3	1
ソフトウェア	114	94
その他	5	19
無形固定資産合計	123	115
投資その他の資産		
投資有価証券	51	63
繰延税金資産	3	2
長期前払費用	1	2
長期未収入金	74	64
その他	444	468
貸倒引当金	△280	△269
投資その他の資産合計	294	332
固定資産合計	589	602
資産合計	7,988	9,413

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	816	1,121
短期借入金	290	290
1年内返済予定の長期借入金	288	288
リース債務	9	6
未払金	623	504
未払費用	262	179
未払印税	1,718	1,887
未払法人税等	93	222
返品調整引当金	85	56
その他	441	299
流動負債合計	4,628	4,855
固定負債		
長期借入金	444	250
リース債務	4	0
繰延税金負債	1	2
退職給付に係る負債	508	449
資産除去債務	34	34
その他	2	—
固定負債合計	994	736
負債合計	5,623	5,592
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	557	557
利益剰余金	995	2,471
自己株式	△31	△32
株主資本合計	2,521	3,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	4
為替換算調整勘定	△175	△175
退職給付に係る調整累計額	△25	△20
その他の包括利益累計額合計	△198	△191
新株予約権	42	15
純資産合計	2,365	3,821
負債純資産合計	7,988	9,413

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	10,109	10,574
売上原価	5,718	5,635
売上総利益	4,390	4,938
販売費及び一般管理費		
販売費	1,615	1,513
一般管理費	1,763	1,726
販売費及び一般管理費合計	3,378	3,239
営業利益	1,012	1,699
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取手数料	3	3
その他	4	2
営業外収益合計	9	6
営業外費用		
支払利息	10	7
持分法による投資損失	0	0
その他	1	0
営業外費用合計	11	8
経常利益	1,009	1,697
特別利益		
新株予約権戻入益	15	27
特別利益合計	15	27
特別損失		
減損損失	9	—
海外事業整理損	59	—
その他	13	—
特別損失合計	83	—
税金等調整前四半期純利益	942	1,724
法人税、住民税及び事業税	120	246
法人税等調整額	△1	2
法人税等合計	119	248
四半期純利益	823	1,476
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	823	1,476

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	823	1,476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	47	△0
退職給付に係る調整額	△21	5
その他の包括利益合計	26	7
四半期包括利益	850	1,483
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	850	1,483
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	市販/配信	特販/通販	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,471	1,678	9,149	959	10,109
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72	7	80	20	100
計	7,544	1,686	9,230	979	10,209
セグメント利益	1,126	945	2,071	286	2,357

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、音楽著作権取得管理事業および製造販売受託事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,071
「その他」の区分の利益	286
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△1,347
四半期連結損益計算書の営業利益	1,012

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	市販/配信	特販/通販	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,590	1,310	9,900	673	10,574
セグメント間の内部売上高 又は振替高	73	6	79	13	93
計	8,663	1,316	9,980	687	10,668
セグメント利益	2,102	666	2,769	253	3,023

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、音楽著作権取得管理事業および製造販売受託事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,769
「その他」の区分の利益	253
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△1,325
四半期連結損益計算書の営業利益	1,699

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる減損損失を認識していないため、記載を省略しております。

## 4. 補足情報

## 四半期業績の推移

平成28年3月期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第4四半期 連結会計期間
売上高	3,006	3,275	3,827	3,234
営業利益	100	312	599	188
経常利益	98	314	596	203
親会社株主に帰属する 四半期純利益	39	269	515	150

平成29年3月期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:百万円)

	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間
売上高	3,287	3,708	3,578
営業利益	532	594	572
経常利益	532	593	571
親会社株主に帰属する 四半期純利益	503	495	476